

グリーン四国

四国森林管理局

高知市丸ノ内1丁目3-30

TEL 088-821-2052

FAX 088-821-4834

ホームページアドレス <http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>

電子メール shikoku_soumu@rinya.maff.go.jp



No.1128 2014年3月号

平成25年度国有林モニター会議の開催

八名の国有林モニターの方が出席され、国有林に期待すること等について、意見をいただきました。【詳細2頁】



浅川局長挨拶



会議に出席のモニターの皆様



二月二四日、四国森林管理局において、平成二五年度国有林モニター会議を開催しました。

国有林モニターの取組は、国有林野事業について



国有林モニター会議の様子

開かれた「国民の森林」に
相応しい管理経営を行なう

ため、一般市民の皆様から幅広い意見や要望等を伺う
ものです。本年度は四国在住の二六名の方に御願ひしています。

今回の会議には、八名の
国有林モニターの方が出席
され、国有林に期待すること等について、意見をいただきました。

この会議でいただいたモニターの皆様の見解については、これからの四国森林管理局の管理経営業務に活かしてまいります。
(主な意見等は次のとおり。)

○モニター勉強会で実際に森林の中に入って森林がメンタルにあたえる効果をあらためて感じた。
○山地災害など防災の面で森林が重要な役割を果たしていることが分かった。

○今後も小学生など小さいうちから森林の機能や人間とのかかわりなどについて教育してほしい。
○高齢者施設や市町村などの公共施設の木造化・国産材普及を推進してほしい。

○遊歩道について、身近な低山ハイキングコースなどは荒れているところが多く整備を進めてほしい。

○グローバルな視点で日本の木材の素晴らしさをPRして国外への輸出に

も力をいれたら良いと思う。

○国有林の林道・作業道等を、隣接する民有地に延ばしているのと知り嬉しく思った。

○林野庁の取組などをもつ

とPRし、国民が山や森林に意識を向ける工夫をしてほしい。

○山に子供達を連れて行って、色々と経験させるような教育をすることが重要だと思う。



近年急激に生息数が増加し、樹木や下層植生に被害を及ぼしているニホンジカ(以下「シカ」)の、徳島・高知両県境の剣山・三嶺地域における関係機関の対策について連絡・調整する連絡会議を、二月二七日に四国森林管理局で開催しました。

会議には、学識経験者や関係公的機関の担当者等二二名と局署の関係職員が出席し、森林管理局、地方環境事務所、徳島県、高知県、馬路村のそれぞれから、平成二五年度の対策の概要と平成二六年度の対策案等の報告がありました。

三嶺の森をまもるみんな

連絡会議の様子



の会の依光代表からは、白髪山周辺は香美市の捕獲（二年間で二三〇頭+α）により樹皮剥ぎ被害等はピーク時から激減したが、捕獲数から生息密度を推測

すれば未だ一畝当たり三五頭程度と適正密度を大幅に上回っていること、シカ食害が大きな要因となっている。豪雨の際の土砂流出量が大幅に増加しており、治山事業による保全対策を検討すべき段階にあるという報告がありました。

高知大学の石川教授からは、三嶺山域のシカ食害地における崩壊地の調査結果から、崩壊上端部は地下水が豊富で崩壊破断部は根茎層の下にパイ孔が密集していること等から、腐朽地下茎の多い層が地下水の選択的流路となつている可能性があること、空撮写真での崩壊地の年代比較（四〇年程度前）から、三嶺山域では恒常的に斜面崩壊が発生しており、昔の小規模な

崩壊は植生の侵入定着により修復してきたが、近年の崩壊地の増加及びその修復が遅いのは、シカの採食圧による可能性が高いという報告がありました。

意見交換においては、現在の捕獲目標頭数の根拠及び今後増加が予想される皆伐等による影響、石鎚山系のシカ被害対策、鳥獣保護管理の専門家育成の必要性、遠隔地にあるシカ防護ネット柵の維持管理対策、土地管理者及び一般からのシカ目撃情報等の収集・蓄積手法等について検討するなど、剣山・三嶺地域での取組の強化のみならず、四国全体でのシカ対策の推進について、改めて関係者が認識を共有しました。



二月一三日、「コンテナ苗など低コスト育林に関する勉強会」立ち上げに向けた準備会を開催しました。準備会には、高知県立森林技術センター、四国森林管理局（森林整備課、森林技術・支援センター、技術普及課）が参加しました。コンテナ苗は生産コスト

面で裸苗より価格が高いものの、これまでの導入結果によると植栽工期が優れている・植栽可能時期が広い・活着が良いなどの優位性が見られます。また、植栽時



コンテナ苗



勉強会の様子